

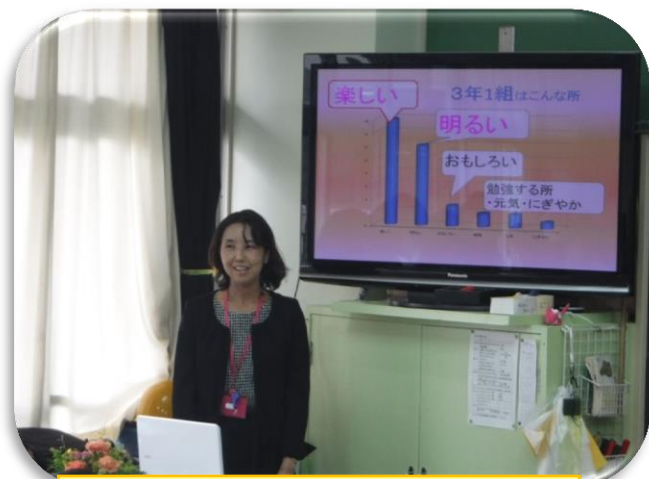
幸手市立上高野小学校

中学年部会

主題名 みんなで楽しい学級を

【内容項目 C よりよい学校生活、集団生活の充実】

資料名 「ハッピースマイル」(彩の国の道徳「みんななかよし」)



学習課題につながる導入の工夫



心の帯グラフを使った発表



付箋を使った考えの掲示



1時間ごとの道徳の振り返りの掲示

1 授業者から（「私の授業の観てほしいポイント」の説明、授業についての感想等）

【私の授業の観てほしいポイント】

- ①学習課題とテーマ発問の設定
- ②心情の変化の視覚化（心の帯グラフ）
- ③多様な考えを生かす板書の工夫

【授業についての感想等】

- 指名の仕方について、子供たち同士で指名することで、スムーズに意見を広めるよう工夫した。
- 心の帯グラフは、1人1人が意見を言うだけでなく、核心に迫るために使用している。



2 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

【①のポイントについて】

- モニターに課題を映しているのので、何度も戻ることができてよい。
- 学習課題はいつも子供の目が届く板書にあった方がよいのではないか。

【②のポイントについて】

- 心の帯グラフを最後に自分の変化にも使用するとよいのではないか。
- 心の帯グラフなので、真ん中の子供にも発表させるとよかったのではないかと。

【③のポイントについて】

- 板書で表情の変化があり分かりやすい。
- 板書で片づける、片づけないを上と下で分けて対比させると分かりやすいのではないかと。

【その他】

- 小グループでの話し合いでは、お互いに聞き返してみるとさらに深まる。
- 役割は周囲で見ている子供のコメントももらえるとよい。



3 指導講評

- 学級の中の道徳のルールがしっかりしている。
- リレー形式での発表で多くの子供が発言できている。
- 導入で大型テレビを使った良さ。印象付ける課題提示ができる一方で、一瞬で消えてしまうデメリットもある。
- アンケート結果の内容は絞る。たくさんあるとどれが大切か見失ってしまう。
- 心の帯グラフは右と左で作業しやすく使いやすい。主人公の気持ちを押さえるため、赤と青の気持ちの確認のために使ったというのが授業者の意図である。3年生の発達段階を考えると、さらに深く理由を問うのはまだ難しい場合がある。
- ベン図（右図）について、どちらでも当てはまるものは何か、と問うのに使ってみてもよい。
- 学習課題への立ち返りは必要である。導入の課題提示を生かすとよい。
- 振り返りは決意表明ではない。自分にできることを考えることが実践意欲につながる。
- 揺さぶりをもう少しできるともっと先生が考えさせたいところが深まるのではないかと。

